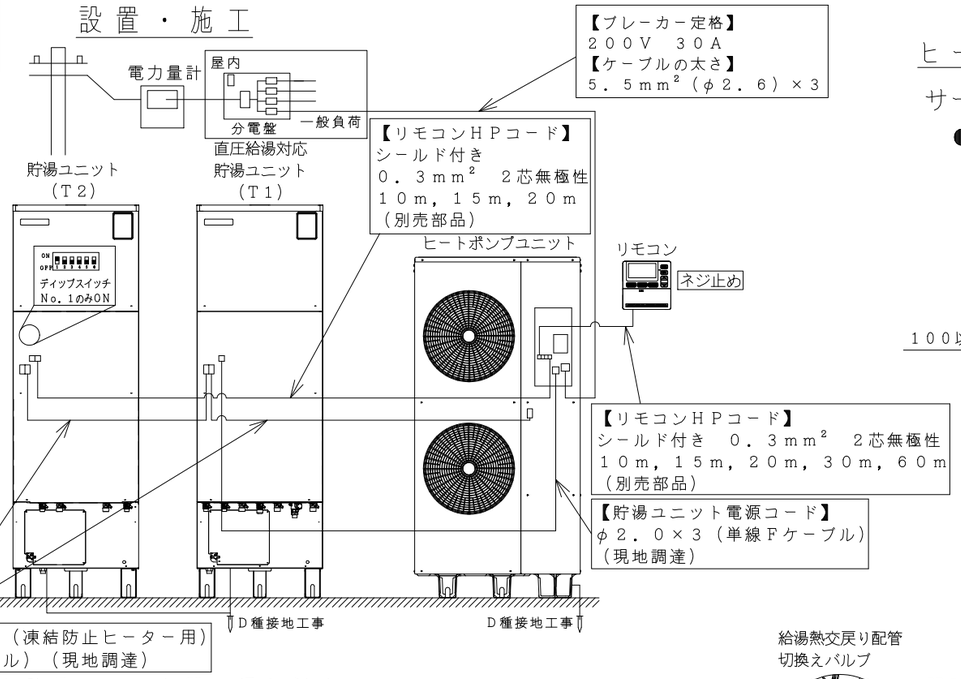
BB0037570

設置・施工

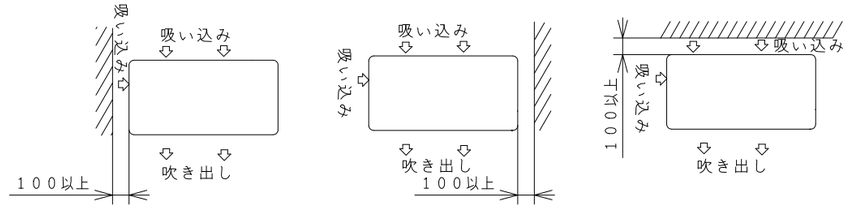
電気工事について

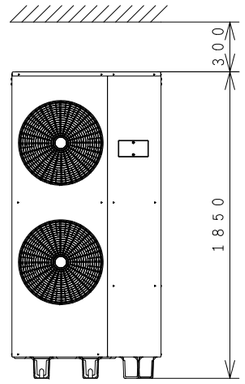


ヒートポンプユニット単体の据付制約

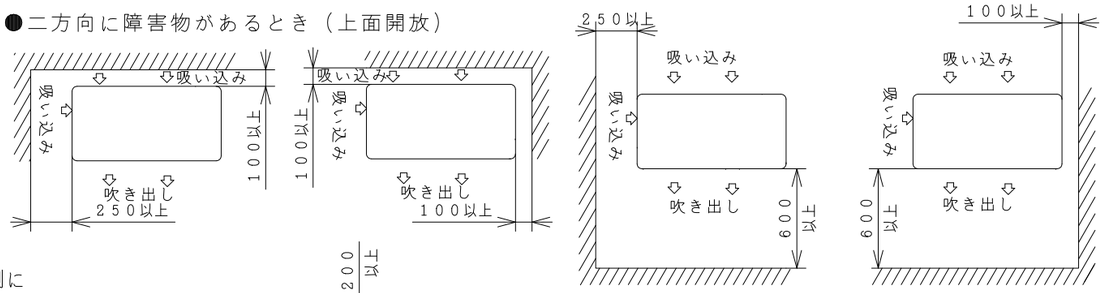
サービススペース（上面寸法は右図による）

●一方向に障害物があるとき（上面開放）





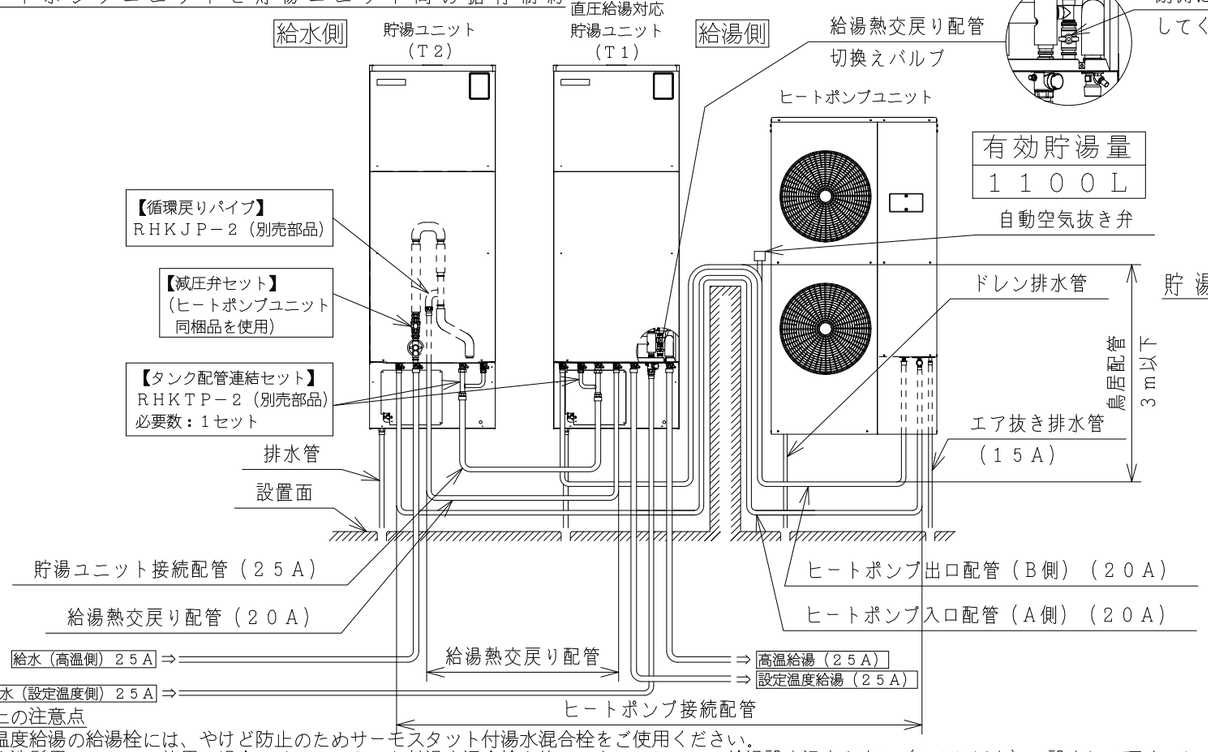
●二方向に障害物があるとき（上面開放）



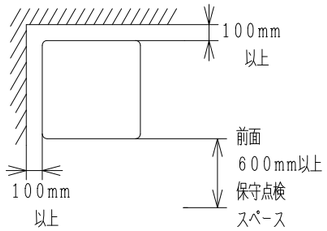
・ヒートポンプユニットは、屋外設置用の機器ですので屋内に設置しないでください。

・ヒートポンプユニットは、周囲４方が閉塞された深さ１ｍ以上の凹地のような場所には設置しないでください。

ヒートポンプユニットと貯湯ユニット間の据付制約



貯湯ユニット単体の据付制約



※ヒートポンプユニットおよび貯湯ユニットを２階以上に設置する場合は上部を固定してください。固定しないと地震の際に転倒したり、本体が破損する恐れがあります。

※台風の多い地域や、屋上などの強風が吹きつける場所に据え付ける場合は風の吹き抜けにくい場所を選定したり、別売の風向ガイドなどで風除けを行ってください。

※ヒートポンプユニットおよび貯湯ユニットは、積雪により製品が埋まったり天板に積雪しない様に除雪を行うか、あるいは小屋かけするなどしてください。

●水質によっては、タンク、逃し弁、熱交換器等の寿命が通常より短くなることがあります。特に、温泉水、地下水井戸水で使用した場合は保証しかねます。水質基準に適合した水道水を使用してください。

水質基準（参考）

水素イオン濃度（25℃）	６．５～８．０ｐＨ
電気伝導率（25℃）	２００μｓ／ｃｍ以下
塩化物イオンCl^-	３０ｍｇ／Ｌ以下
硫酸イオンSO_4^{2-}	３０ｍｇ／Ｌ以下

Ｍアルカリ度ｐＨ４．８（酸消費量）$CaCO_3$	５０ｍｇ／Ｌ以下
総硬度$CaCO_3$	７０ｍｇ／Ｌ以下
カルシウム硬度$CaCO_3$	５０ｍｇ／Ｌ以下
シリカSiO_2	３０ｍｇ／Ｌ以下
イオウイオンS^{2-}	検出されないこと

アンモニウムイオンNH_4^+	検出されないこと
鉄Ｆｅ	０．３ｍｇ／Ｌ以下
残留塩素Ｃｌ	０．５ｍｇ／Ｌ以下
遊離炭酸CO_2	４．０ｍｇ／Ｌ以下

施工上の注意点

・設定温度給湯の給湯栓には、やけど防止のためサーモスタット付湯水混合栓をご使用ください。
風呂や洗髪用のシャワー使用の場合はサーモスタット付湯水混合栓を施工の上、リモコンで給湯設定温度を高め（５０℃以上）に設定して頂くことで湯温変動を少なくすることができます。

・高温給湯は厨房機器の給湯以外に使用する場合は、やけど防止のため給湯経路に湯水のミキシングバルブを設定して６０℃程度に湯温を調整してご使用ください。

・高温給湯は流量が調整できる様、給湯経路にバルブを設置し、最大給湯量を２０Ｌ／分以下としてください。

・ヒートポンプ配管および給湯配管を１ｍ以上鳥居配管とする場合は最上部に空気抜き弁を取り付けてください。

・－３．５ｍを超える階下給湯の場合は貯湯ユニットの直近の給湯配管に負圧防止弁と空気抜き弁を取り付けてください。

・ヒートポンプユニットを貯湯ユニットより１ｍ以上高い位置に設置する場合は、Ｂ側（出湯）配管の立下り部の角に自動空気抜き弁を設置してください。

ヒートポンプ配管	給湯熱交戻り配管
１５ｍ以内	５ｍ以内
１０曲がり以内（片道）	５曲がり以内（片道）

	階上	階下
設定温度給湯側	９ｍ以内	－１５ｍ以内
高温給湯側	４ｍ以内	－３．５ｍ以内

※階下、階上給湯はいずれかでご使用ください。

	SIGNATURE	DATE
DWN.	M.Osodo	2013-03-06
CHKD.	S.Katagiri	2013-03-06
APPD.	S.Katagiri	2013-03-06

PROJECTION　SCALE：ＮＴＳ　TITLE：システム型番：RHK-1502CDKS設置・施工図

Hitachi Global Life Solutions, Inc.
Tokyo Japan

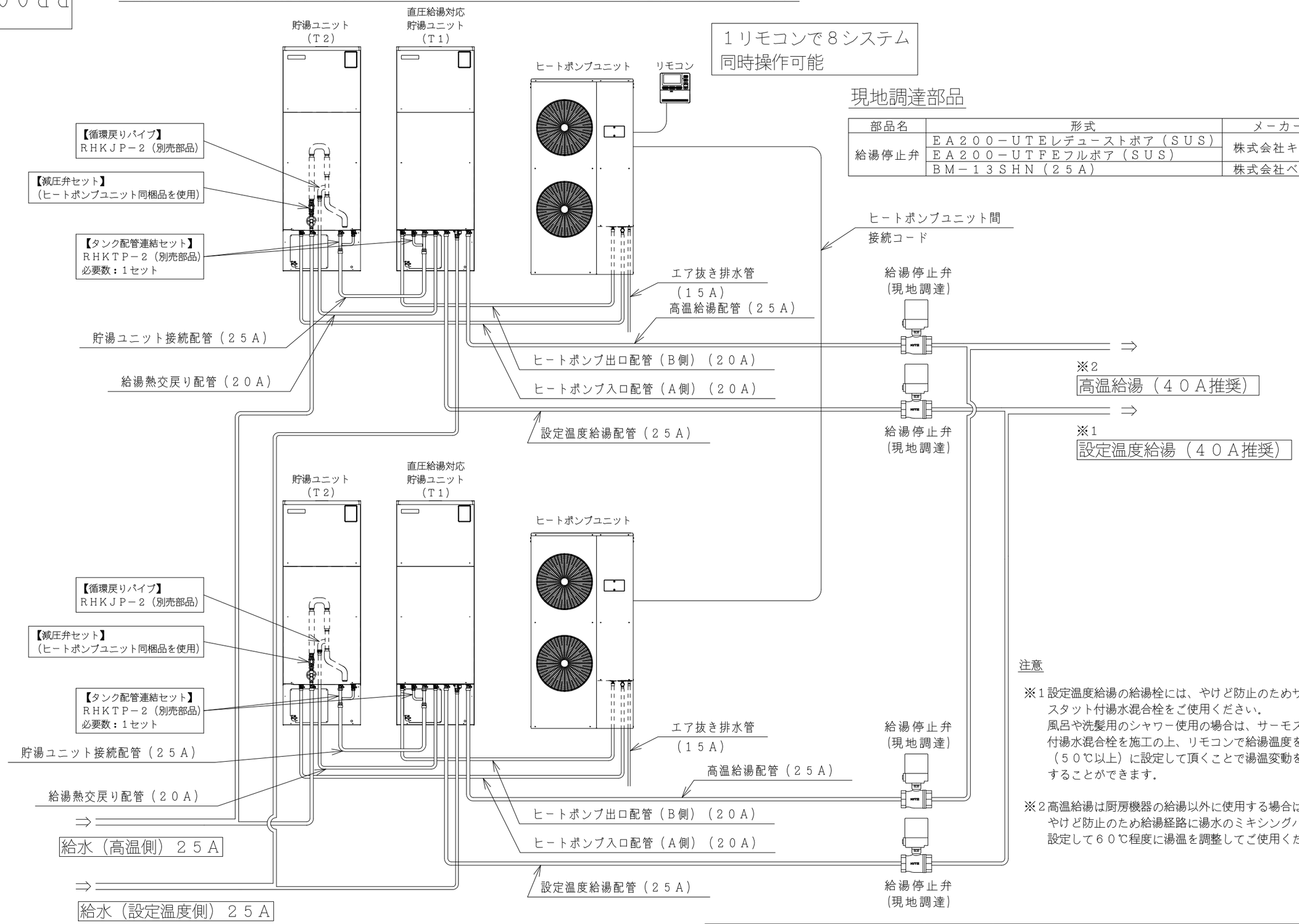
TOCHIGI DWG. No. 3YAA BB0037570

REGD. REGD 2013 0306

007

BB0037571

複数台並列設置時の配管接続図（本図はＲＨＫ－１５０２ＣＤＫＳ×２セット接続を示しています）



現地調達部品

部品名	形式	メーカー
給湯停止弁	ＥＡ２００－ＵＴＥレデューストボア（ＳＵＳ）	株式会社キッツ
	ＥＡ２００－ＵＴＦＥフルボア（ＳＵＳ）	
	ＢＭ－１３ＳＨＮ（２５Ａ）	株式会社ベン

注意

※１設定温度給湯の給湯栓には、やけど防止のためサーモスタット付湯水混合栓をご使用ください。
風呂や洗髪用のシャワー使用の場合は、サーモスタット付湯水混合栓を施工の上、リモコンで給湯温度を高め（５０℃以上）に設定して頂くことで湯温変動を少なくすることができます。

※２高温給湯は厨房機器の給湯以外に使用する場合は
やけど防止のため給湯経路に湯水のミキシングバルブを設定して６０℃程度に湯温を調整してご使用ください。

	SIGNATURE	DATE
DWN.	M.Osodo	2013-03-06
CHKD.	S.Katagiri	2013-03-06
APPD.	S.Katagiri	2013-03-06

PROJECTION

SCALE: NTS

TITLE: 2並列の配管接続システム図（RHK-1502CDKS×2セット）

Hitachi Global Life Solutions, Inc.
Tokyo Japan

TOCHIGI DWG. No. 3YAA BB0037571

REGD. REGD 2013 0306

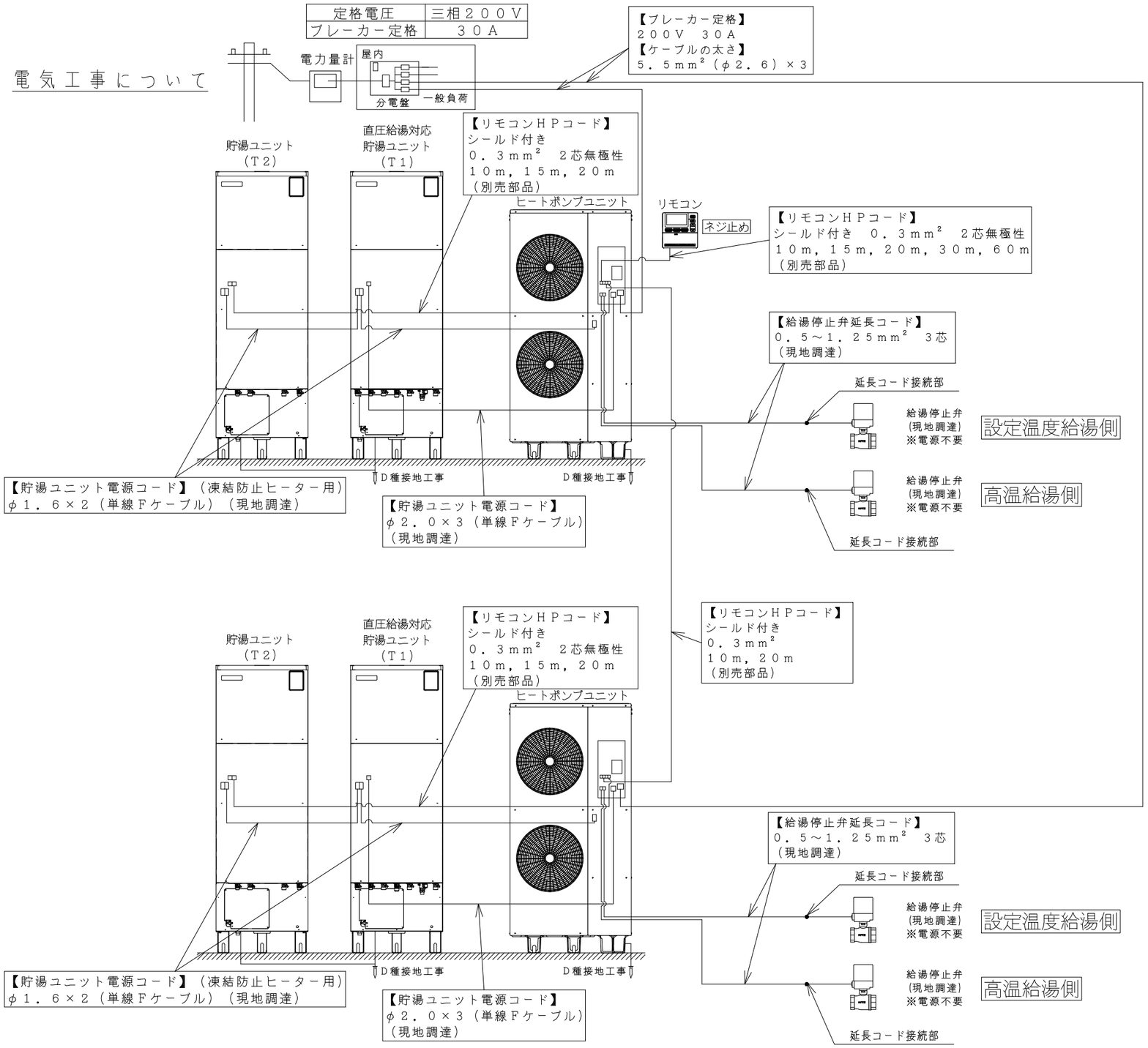
006

BB0037572

複数台並列設置時の配線接続図（本図はＲＨＫ－１５０２ＣＤＫＳ×２セット接続を示しています）

電気工事について

定格電圧	三相２００Ｖ
ブレーカー定格	３０Ａ



※リモコンを接続しているヒートポンプユニットを
１号機としています。１号機と２号機の接続と同様に
２号機と３号機，３号機と４号機というように８号機
まで接続可能です。

SIGNATURE		DATE
DWN.	M.Osodo	2013-03-06
CHKD.	S.Katagiri	2013-03-06
APPD.	S.Katagiri	2013-03-06

PROJECTION

SCALE: NTS

TITLE: 2並列の配線接続図（RHK-1502CDKS×2セット）

Hitachi Global Life Solutions, Inc.
Tokyo Japan

TOCHIGI DWG. No.
3YAA BB0037572

REGD. 2013 0306

003

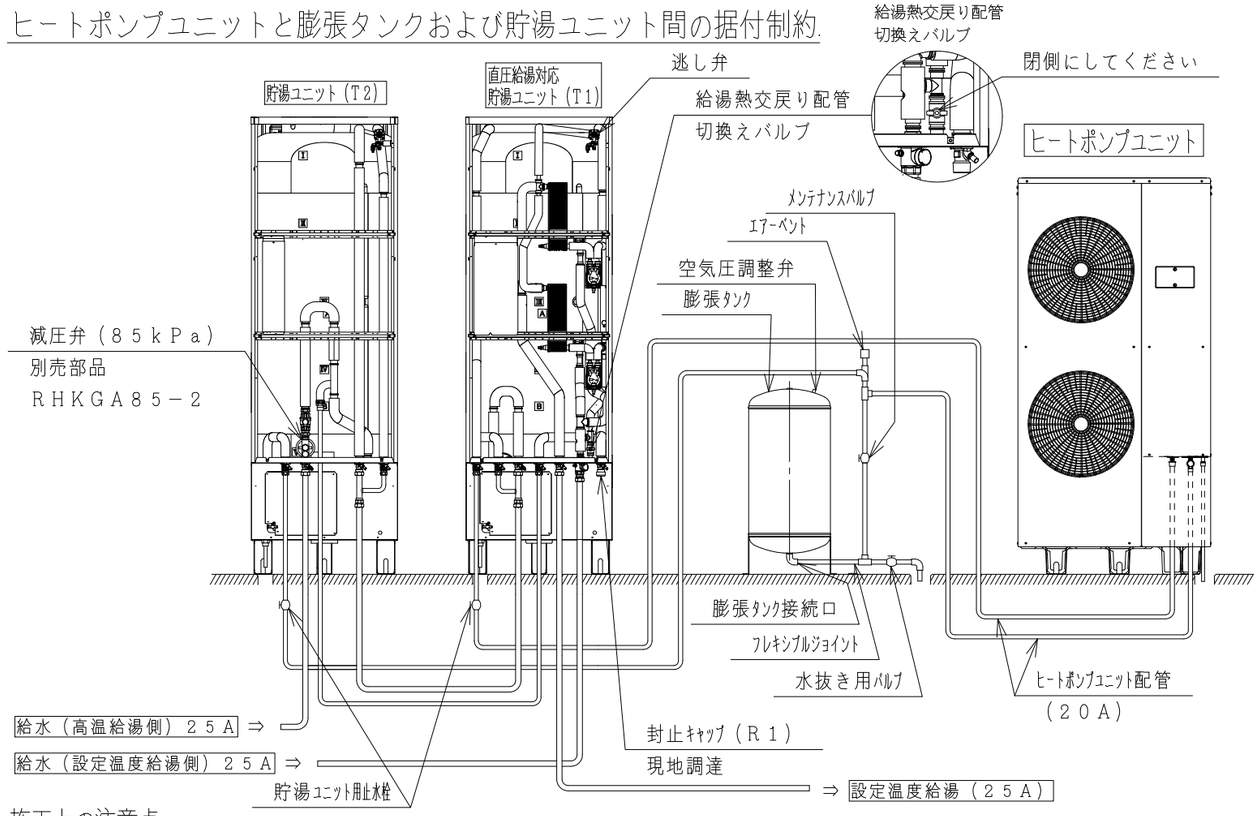
BB0038803

井水対応時（膨張タンク）設置施工図

井水対応には下記対応が必要です。
●膨張タンクを必ず取り付けてください。
（推奨品　日立金属製　ＳＴ－６０Ｖ（封入圧１００ｋＰａと指定してください。））
●減圧弁は８５ｋＰａ仕様品（別売部品　ＲＨＫＧＡ８５－２）を取り付けてください。
●使用する水は飲料水の基準に適合し、下記の水質基準範囲内でご使用ください。

水素イオン濃度（２５℃）	５．８～８．６ｐＨ	シリカ　SiO_2	５０ｍｇ／Ｌ以下
電気伝導率（２５℃）	７００μｓ／ｃｍ以下	イオウイオン　S^{2-}	検出されないこと
塩化物イオン　Cl^-	１００ｍｇ／Ｌ以下	アンモニウムイオン　NH_4^+	検出されないこと
硫酸イオン　SO_4^{2-}	５０ｍｇ／Ｌ以下	鉄　Ｆｅ	０．３ｍｇ／Ｌ以下
Ｍアルカリ度ｐＨ４．８（酸消費量）	７５ｍｇ／Ｌ以下	銅　Ｃｕ	１．０ｍｇ／Ｌ以下
総硬度　$CaCO_3$	２００ｍｇ／Ｌ以下	残留塩素　Ｃｌ	１．０ｍｇ／Ｌ以下
カルシウム硬度　$CaCO_3$	１５０ｍｇ／Ｌ以下	遊離炭酸　CO_2	３０ｍｇ／Ｌ以下

ヒートポンプユニットと膨張タンクおよび貯湯ユニット間の据付制約



施工上の注意点

●井水使用の場合は、高温給湯は使用できませんので、封止キャップ（現地調達）で塞ぎ、配管接続しないでください。
（但し、設定温度給湯・高温給湯用の給水は共に接続してください。）
●設定温度給湯の給湯栓には、やけど防止のためサーモスタット付湯水混合栓をご使用ください。
風呂や洗髪用のシャワー使用の場合は、サーモスタット付湯水混合栓を施工の上、リモコンで給湯温度を高め（５０℃以上）に設定して頂くことで湯温変動を少なく　することができます。
●ヒートポンプユニットと貯湯ユニットと膨張タンクの高低差は１ｍ以内に設置してください。
●ヒートポンプユニットＢ側配管は施工の際、上図のように立ち上げる必要はありません。

施工後の試運転

●施行後、必ず試運転を行ってください。（沸き上げ温度９０℃，沸き上げ量１００％）
●沸き上げ完了後、貯湯ユニット（Ｔ１）の逃し弁よりエア抜きを行ってください。（数秒間）
（ゴボゴボ音がしたり、水が断続するような場合はエア抜きが終了していません。）
※エア抜きを行わないと、給湯ポンプがエア噛みを起こす恐れがあります。

膨張タンク施工時の注意点

警告

●施工時　・膨張タンクへの配管接続は、膨張タンク接続口に必ず接続する．膨張タンク接続口以外への接続は絶対に行わない．
膨張タンク接続口以外を緩めたりすると部品が飛散し、重傷を負う恐れがあります．

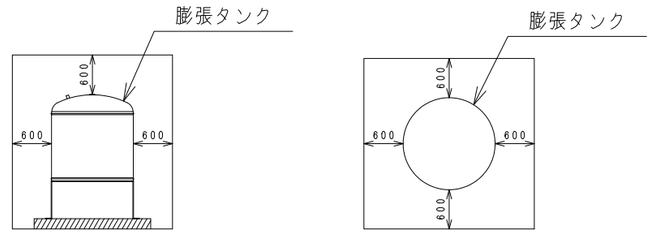
●使用時　・膨張タンク使用時は、接続配管を緩めない．
緩めると部品が飛散したり温水が吹き出し、重傷を負う恐れがあります．また、タンクの水は、飲用に使用できません．

注意

●施工時　・膨張タンクは基礎、架台等へ確実に固定する．また、転倒防止のため、アンカーボルト等にて確実に固定する．
（耐震１．０Ｇ以上の要求の場合は上部固定が必要となります．）
吊り下げて設置する場合は固定金具等で固定する．
膨張タンクが転倒し、部品が飛散したり温水が吹き出し、重傷を負う恐れがあります．

・膨張タンクは、屋内設置仕様です．屋外に設置する場合には、屋外塗装仕様品を指定するか、あるいは防水（雨じまい）防錆等の処置を必ず行う．腐食等により、温水が吹き出し、重傷を負う恐れがあります．

・膨張タンクの「空気圧調整弁」の周囲は、６００ｍｍ以上の空間を必ず取る．また、タンク上部には配管およびダクト類を通さない．
膨張タンクの整備、取替えができません．



正面設置スペース　　平面設置スペース

・システム配管の水圧試験時には、「メンテナンスバルブ」を閉じで膨張タンクへ圧力をかけない．
膨張タンクにシステム配管の水圧試験圧力がかかった場合、ダイヤフラムが破損する可能性があります．

・膨張タンクおよび接続配管が、凍結する恐れのある場合は必ず保温工事を行う．
膨張タンクを保温する場合は、空気圧調整弁、銘板またはシールが点検時に外部より点検できる様に施工してください．
凍結した場合、配管が破損する恐れがあります．
（タンクの保温は１６Ｋ以上のグラスウール＋ラッキングとしてください．）
接続配管には、タンク接続口まで配管ヒータを取り付けるなどの処理をしてください．

・施工時には、配管の接続を間違わない．
誤った箇所に接続されますと製品が機能しません．

・膨張タンクへの配管接続は、「フレキシブルジョイント」「メンテナンス用バルブ」「水抜き用バルブ」を必ず取り付ける．

●使用時　１年以内ごとに１回の定期点検を必ず行ってください．

SIGNATURE		DATE	PROJECTION	SCALE	TITLE
DWN.	M.Osodo	2013-05-08		NTS	RHK-1502CDKS 井水対応時設置施工図
CHKD.	S.Katagiri	2013-05-08	Hitachi Global Life Solutions, Inc. Tokyo Japan		TOCHIGI DWG. No. 3YAA BB0038803
APPD.	S.Katagiri	2013-05-08			REGD. 2013 0508

002